

モザンビーク国内市場向け天然ガス開発事業に関する入札

1. 案件名：

（葡語） Adjudicação de Gás Natural para o Desenvolvimento de Projectos no Mercado Domestico

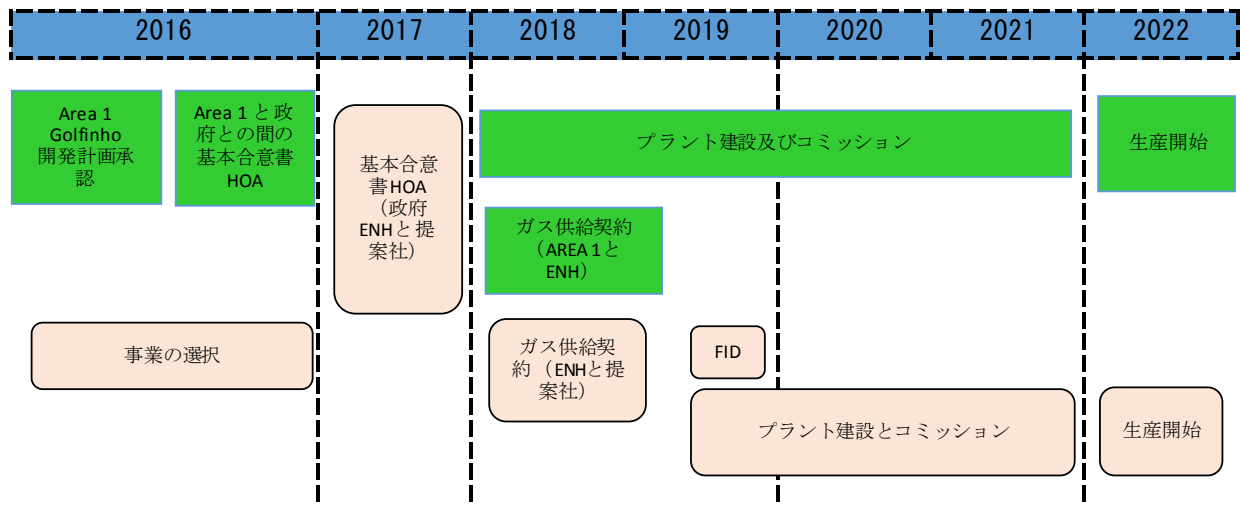
（日本語約） 国内市場向け天然ガス開発事業に関する入札

2. 入札の目的

本入札は、モザンビーク国内市場向けの天然ガス開発事業（発電、肥料、液体燃料等）を実施する企業を選定することを目的とする。本入札での選定後、企業は、政府との間で各事業の覚書を結ぶことになり、この覚書に基づいて、事業を実施することになる。本入札手続きは、鉱物資源エネルギー省によって行われる。

3. 入札スケジュール

モザンビーク政府は、ロブマ堆積盆地のコンセッショナーから、LNG の開発事業と輸出向け事業の両方に供給される天然ガス量を確保した。AREA 1 の LNG 事業におけるガス量とスケジュールを考量して、以下の暫定的な実施スケジュールを示す。



	AREA 1 の実施スケジュール
	国内ガスのスケジュール

図 1：LNG 及び国内ガス事業の暫定的スケジュール

最初の短期フェーズでは、100MCF/日のガスが供給される。参考価格として USD2.5/Gj 以上が示されている。追加的な投資事業及び購入業者からの確約があれば、さらに 300MCF/日が供給される。国内市場向けに使用される天然ガス量の追加は、天然ガス量を正当化する事業がある場合、ロブマ堆積盆地の AREA1 と AREA4 のコンセッショナーによって供給されることもある。ガスマスタープランに基づいた優先事業は、以下の表の通りである。

表 1：ガスマスタープランにおける優先事業

産業セクター	事業	製品	正当性
燃料	GTL	ディーゼル/LPG/ナフサ	<ul style="list-style-type: none"> モザンビークにおける輸入精製石油製品の依存を削減する 地域における液体燃料の輸出ポテンシャル
化学塩基 (chemical base)	アンモニア/尿素、その他製品	アンモニア・尿素、その他製品	<ul style="list-style-type: none"> 政府戦略の一つである農業及び農産物の開発を目的とするもの 肥料の輸入削減を提案するもの 尿素やその他の肥料工場により、モザンビークが南部アフリカにおける肥料製品の流通センターとして機能することになること
エネルギー	発電所	電力	<ul style="list-style-type: none"> 産業化及び農村電化戦略の実施に貢献するもの 電力の配電における効率性と柔軟性の増加 モ国及び地域におけるエネルギー供給の増加 エネルギーバランス (Energy Matrix) の多様化への貢献

4. 入札プロセス

企業選定までの入札手続きは以下の通りである。

表 2. 入札スケジュール

段階	日付
入札の開始	2016年8月26日
プロポーザルの提出	2016年10月17日
プロポーザルの開札	2016年10月17日
入札評価	2016年10月18日～31日
結果の承認	2016年11月1日～7日
結果の公表	2016年11月14日
クレームと明確化	2016年11月15日～22日

5. プロポーザル

プロポーザルは、ポルトガル語と英語の2か国語で作成されなければならない。(プロポーザルの内容に) 疑問がある場合は、ポルトガル語で作成されたプロポーザルが優先される。

提案社は、事業の代替構成案を提案することが可能である(製品、副製品、場所等)。単独での提案及びコンソーシアムを形成して提案することが可能である。一つのプロポーザルに参加する企

業が、別のプロポーザルに参加することは禁止する。

6. プロポーザルの書類

プロポーザルは、以下の書類から構成される。

6.1 一般的な情報（略）

6.2 プロポーザル

- i. 以下を含む提案事業の詳細
 - 事業設備の予備設計
 - 事業の位置
 - 建設時及び創業時における必要な雇用数
 - 事業に必要なスタッフの能力強化及び研修計画
 - 投資額と操業コスト
- ii. 事業開発に必要な天然ガス量
- iii. 自己資本と事業実施に必要な資金計画の提案、可能な資金源を含む
- iv. 事業実施スケジュール
- v. 国内市場及び輸出市場向けの製品量の見込み。商業化計画及び輸出計画。購入者からの予備的コミットメント
- vi. 事業の社会的影響（雇用、人的資本開発、社会インフラ開発、CSR 等に関する提案）
- vii. 事業の経済的影響（財務収入の創出、事業への機材・サービスの供給における中小企業の参加への貢献、最終品の競争力ある価格、経済インフラの開発、地域レベルでの経済利益、ローカルコンテンツ）
- viii. 企業もしくは事業の SPC におけるモザンビーク政府とモザンビーク企業（もしくはモザンビーク人）の参加の提案
- ix. 覚書（技術及び経済事業可能性調査、天然ガス購入契約交渉等）の有効期間において、融資が受けられるプロジェクトになるため、提案社によって考えられるアクションの提案
- x.

7. プロポーザルの提出

プロポーザルの提出期限は、2016 年 10 月 17 日 15:30 であり、以下の住所まで提出する。

宛名：Sra. Nilza Mendonca

Institute Nacional de Petroleo (INP)

Rua dos Desportistas Nr. 259, Parcela E, Maputo, Mozambique

プロポーザルは、1 オリジナルと 5 コピーからなり、1 札（one envelope）で示されなければならない。プロポーザルの提出においては、2 百万メティカル（2 million meticaís）を支払う必要がある。プロポーザルの開札は、10 月 17 日の 15:45、INP にて行われる。

8. その他

その他の詳細は、TOR にて記載されている。TOR の付属として、A. EVATE におけるリン鉱床、B.モ国における燃料の推移、C.モザンビーク堆積盆地における天然ガス開発、が記載されている。

本入札は、AREA1 のガス田からの天然ガスが供給されると記載されているが、十分に正当化できる事業であれば、AREA1 と AREA 4 に跨っている Mamba/Propriedade ガス田や他のガス田からも追加的な天然ガスが下流事業に供給される可能性がある。

関心企業から INP への質問が開始されており、これまでのところ、(1) プロポーザルは、「1 企業 1 事業」として評価される、1 企業が複数の事業を別々にプロポーザルとして提出することも可能である、(2) (ENH がコンソーシアムのメンバーとなるのか、という質問に対して) 我々は、国家への参加を提供するよう企業に助言する、という回答があった。(2) の回答は、ガス・石油分野でモザンビーク国家を代表する ENH の参加と考えられるが、他の国営企業や国家機関の参加も含蓄されている。